

広報 しんじょう

10
2010

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.634

ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール info@city.shinjo.yamagata.jp

ホームページ検索

検索



決算報告

NEW
山形県・新庄市合同総合防災訓練
佐吉爺の民具あれこれ



■市の木[モミ]

昭和59年の市制施行を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。

平成二十一年度

決算報告

市民1人あたりに
使われたお金
(一般会計歳出/人口)
372,303円

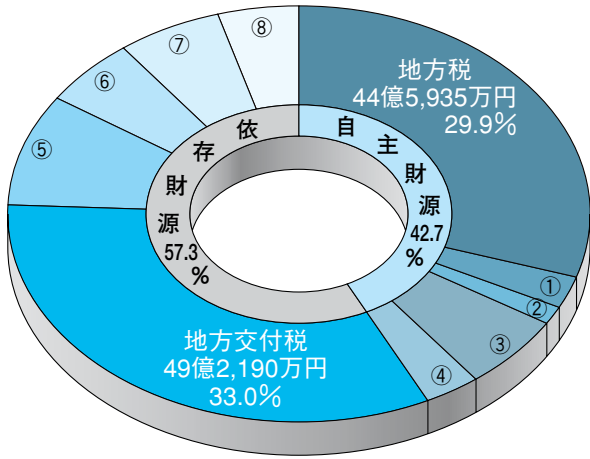
民生費	91,192円
総務費	58,368円
公債費	48,034円
衛生費	41,690円
土木費	41,491円
教育費	35,939円
農林水産業費	18,568円
消防費	15,242円
商工費	13,555円
その他	8,224円

平成二十一年度決算が、市議会九月定例会で承認されました。
決算は、実際にどれだけの収入・支出があったかをまとめ、予算の使い方を確認するものです。
平成二十一年度決算は、「財政再建プラン」の確実な実行により、財政健全化の判断基準値を下回り、「財政の早期健全化団体」を脱却するなど、効果が大きく表れた決算となりました。

一般会計 歳入 総額

149億1,781万円

前年度比6.5%増

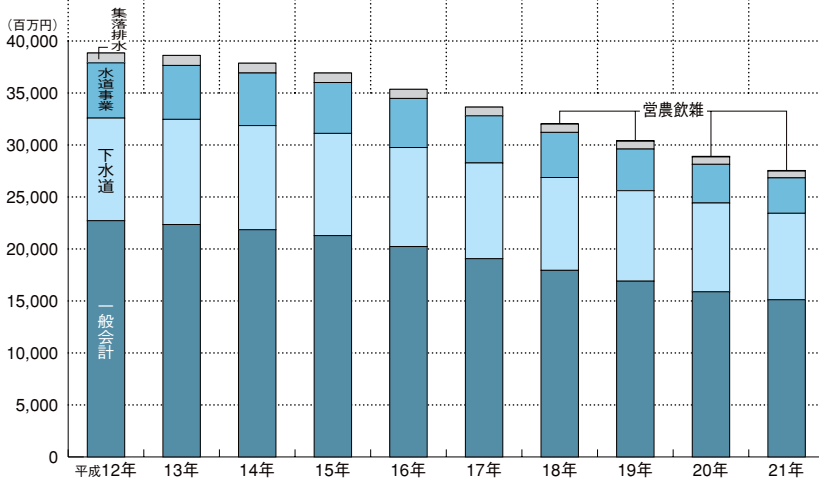


- ① 諸収入
3億7,212万円 2.5%
- ② 分担金・負担金
2億403万円 1.4%
- ③ 繰越金
8億6,416万円 5.8%
- ④ その他自主財源
4億7,119万円 3.1%
- ⑤ 国庫支出金
12億9,376万円 8.7%
- ⑥ 市債
7億9,010万円 5.3%
- ⑦ 県支出金
8億6,471万円 5.8%
- ⑧ その他依存財源
6億7,649万円 4.5%

市債(借金)残高の推移

(単位: 百万円)

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
一般会計	22,721	22,352	21,852	21,287	20,235	19,068	17,944	16,902	15,882	15,118
下水道	9,865	10,111	10,013	9,826	9,520	9,203	8,928	8,704	8,539	8,311
水道事業	5,308	5,186	5,057	4,895	4,721	4,534	4,339	4,002	3,718	3,408
集落排水	950	964	940	911	876	836	794	752	712	654
営農飲雑	0	0	0	0	0	0	23	58	58	58
計	38,844	38,613	37,862	36,919	35,352	33,641	32,028	30,418	28,909	27,549



市民1人あたりが
納めた市税
(市税/人口)

114,029円

(22年3月31日現在 39,107人)

決算の総額は、前年度に比べ、歳入が六・五%増、歳出が十・八%増となりました。国補正予算に伴う生活・経済対策を中心とした臨時交付金が大きく作用したもので、これを効果的に活用し、多くの分野で充実した整備を図ることができました。

前年度決算と比べると、歳入では、市税が減少し、地方交付税が増加しました。歳出では、人件費や公債費が減少し、基金積立が増加したことなどにより、*経常収支比率が九十九・二%から九十五・一%に改善しました。

*経常収支比率/財政の弾力性を表わす指標で、一般的には八十%程度が望ましいとされています。

財政健全化計画 による 早期健全化を完了

「実質公債費比率」が23.5%となり、早期健全化基準を下回ったため、今年3月に策定した財政健全化計画に基づく財政の早期健全化を完了することになりました。「財政健全化法」の規定に基づき、早期健全化が完了したことについて、市議会に報告し、市民への公表とともに県知事に対し報告を行いました。

これまでの財政再建の取り組みのなかで、特に平成21年度は、新たな起債の抑制のほか、新幹線関連事業などの起債の償還完了に伴う最上広域市町村圏事務組合負担金の減少、全会計におよぶ公的資金の繰上償還などを行い、早期の健全化に努めてきました。

早期健全化団体を脱却しましたが、今後も財政の悪化を招かないよう、適切な財政運営が重要となります。基準は下回りましたが、「実質公債費比率」は依然として高い水準にあります。引き続き、財政再建のための計画内容に沿った改善策を推進していきます。

◆実質公債費比率

自治体の収入（標準財政規模・税の一定額と普通交付税額を合わせた金額）に対する借入金返済額の割合を示す指標（3カ年平均）。一般会計だけでなく、特別会計、一部事務組合、借入金と同様の債務負担（将来にわたり負担を決定したもの）を含めた数値です。

◆将来負担比率

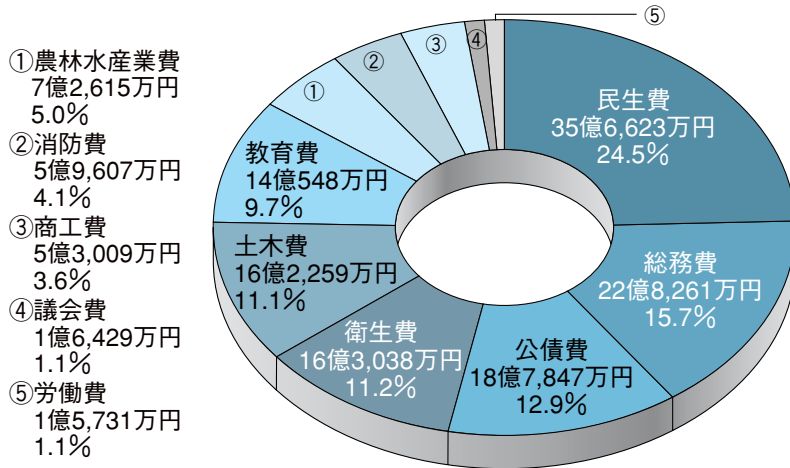
実質公債費比率はその年度に支払った償還金などで算出しますが、この比率は今後支払わなければならない借金残高などをもとに算出します。全会計の借金残高、退職手当引当金、第三セクターの債務などを分子とし、分母である標準財政規模で割った数値です。

「実質公債費比率」は、前年度決算では、早期健全化基準値の25.5%を超え、二十五・九%でしたが、平成二十一年度決算では、二十三・五%まで改善し、「将来負担比率」についても百五十四・九%と十四・八ポイントの改善となりました。なお、公営企業財政の健全化指標となる「資本不足比率」については、すべての特別会計で資金不足額はありませんでした。

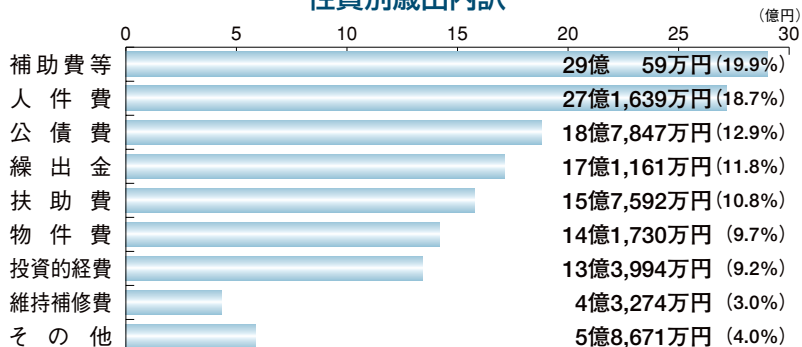
一般会計 歳出 総額

145億5,967万円

前年度比 10.8%増



性質別歳出内訳



特別会計・企業会計決算

区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	40億5,296万円	40億2,375万円
交通災害共済事業	864万円	864万円
老人保健事業	912万円	881万円
公共下水道事業	17億5,162万円	17億4,247万円
農業集落排水事業	1億 826万円	1億 826万円
営農飲雑用水事業	1,975万円	1,975万円
介護保険事業	27億3,157万円	27億1,427万円
後期高齢者医療事業	3億5,362万円	3億4,607万円
水道事業	11億8,846万円	10億8,615万円
収益的収支	1億2,702万円	6億9,751万円
資本的収支		

財政健全化判断比率

区分	20年度	21年度	早期健全化基準*
実質赤字比率	—	—	13.37%
連結実質赤字比率	—	—	18.37%
実質公債費比率	25.9%	23.5%	25.0%
将来負担比率	169.7%	154.9%	350.0%

■「実質赤字比率」と「連結赤字比率」は、前年度同様、すべての会計で黒字決算となったため数値はありません。

*早期健全化基準／基準値を超えると「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を策定し国に提出しなければなりません。

平成二十一年度
「財政健全化判断比率」
地方公共団体の財政状況を測る四つの指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）による「財政健全化判断比率」は次のとおりです。



山形県・新庄市合同 総合防災訓練を実施

H22.9.5
AM9:00
M7.0

9月5日、山形県と新庄市が合同で総合防災訓練を実施しました。

訓練には、県と市の防災関係者のほか、地域住民で組織する自主防災会や電気、通信、水道、ガスなどのライフライン関連企業、消防団、婦人防火協力班など50団体約800人が参加。大規模災害を想定した22項目にわたる訓練を行いました。その一部を紹介します。

訓練(被害)想定

平成22年9月5日午前9時、新庄盆地断層帯を震源域とするマグニチュード7.0と推定される地震が発生し、県内全域で震度4以上を観測、中でも最上地方では震度6強を記録した。

この地震により、最上地方を中心に広い範囲で建物が倒壊し、相当数の死傷者が発生したほか、橋の損傷、路面の変状が発生し、電気、通信、水道、ガスなどのライフラインに甚大な被害が発生し、新庄市では、多数の人的被害および建物の倒壊などが発生したほか、数箇所ですべて同時に火災が発生した。

- 1 県・市による災害対策本部設置訓練
- 2 県建設業協会最上支部による道路障害物除去訓練
- 3 県LPガス協会最上支部と消防本部によるLPガス漏れ応急措置訓練
- 4 地域住民による避難誘導訓練
- 5 地域住民による初期消火訓練
- 6 新庄・最上地域の消防団による大規模火災防衛訓練
- 7 陸上自衛隊による倒壊建物等救出訓練
- 8 県警機動隊による倒壊建物等救出訓練
- 9 医師会、日本赤十字社、県看護協会、県立新庄病院などによる医療救護訓練
- 10 婦人防火協力班給食・給水訓練



予防接種を助成します

インフルエンザ予防ワクチン

今年度のインフルエンザワクチンは、従来の季節型インフルエンザワクチンに新型インフルエンザワクチンが含まれたものになります。

■接種期間 平成23年3月31日まで

■助成額

- ①生活保護世帯・市民税非課税世帯…全額(健康課健康推進室へ申し込みが必要です)
- ②接種日に65歳以上の人、または60歳以上で内部障がいにより身体障害者手帳1級に該当する人………1,000円(医療機関で接種し、助成額を差し引いた差額分をお支払いください)

子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がんは、近年20~30歳代での発症が増加していて、予防ワクチンが、昨年12月から接種できるようになりました。10代前半が効果的な接種時期とされ、子宮頸がんの発症を7割程度予防できるとされています。

市では、接種を希望する小学6年生の女子を対象に子宮頸がん予防ワクチンの接種(6カ月間で3回の接種が必要)費用の9割を助成します。

■自己負担額 1回につき1,500円

※接種は、任意です。対象者に接種のご案内を送付します。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513

親から子へ受け継ぐ 絵を描く魅力

中学校教諭
伊藤 聡さん(仁間)



「子どもが小さい頃の姿を絵に残そうと、子どもの写真や本人をモデルにデッサンするなどしています。今回出品した作品も七五三のときに撮った写真を見ながら描きました」そう話す伊藤さんは、中学校の美術教諭のかたわら、自身の創作活動も続け、今年の県美展に子どもたちをモデルにした『四姉妹Ⅲ』という作品を出品し入選。また、そのモデルになった四姉妹の三女・理子さんの作品『古いミシン』もこども県展で奨励賞を受けました。

「自分も小学六年と中学一年のときにこども県展に入選したのがきっかけで、絵を描くことが好きになりました。今年、夏休みの宿題で一所懸命絵を描いている娘の姿を見て、自分も久しぶりに描いてみようと思いました。娘の絵には口出しはしません。嫌がられますからね。ただ、出来上がった娘たちの作品は額に入れて飾るようにしています」自宅に飾られた多くの絵を見ると、何も言わなくても絵を描く楽しさが子どもたちに受け継がれていることがよくわかります。

「忙しい毎日で、なかなかゆっくり絵を描く時間はとれませんが、創作活動はずっと続けたいと思っています。そして、美術が地域や社会全体に潤いをもたらすような活動も行っていきたいと考えています」と語ってくれた伊藤さんと娘さんの作品は、県美展新庄巡回展に展示されます。ぜひご覧ください。

第65回県美展・新庄巡回展

○とき 11月3日(水)～8日(月)
午前9時～午後5時
(最終日は正午まで)

○ところ 市民プラザ
○入場料 200円(高校生以下無料)
◎詳しくは、市民プラザへ。



☎22-4200 ▲理子さんの作品『古いミシン』

野焼きは禁止されています!

野焼きとは、野外で焼却施設を用いずに物を燃やすことです。この時期は悪臭に関する苦情が多数寄せられますが、そのほとんどは野焼きによるものです。野焼きを行うと煙や悪臭が公害の原因となるほか、焼却したときの温度が最高でも約300度にしか達しないためダイオキシン類が発生します。

ダイオキシンは毒性を持つ物質です。実験用動物の妊娠中に比較的少量にダイオキシン類を与える実験を行ったところ、生まれた動物に奇形を起こすことが確認されています。

野焼きは、法律や条例で禁止されており、違反した場合は5年以下の懲役か100万円以下の罰金のいずれか、または両方が科されることになります。

野焼き防止には、市民の皆さんの協力が必要です。野焼きを見つけたら、最上総合支庁環境課または市環境課にご連絡ください。

◎詳しくは、最上総合支庁環境課☎29-1286、市環境課☎内線433へ。



▲市民の通報を受け、野焼きの現場を確認。消火を行いました。

仲間と一緒に
楽しめる人生は最高！
九月十一日(土)、十二日(日)の二日間にわたり、第十八回市総合スポーツレクリエーション大会が行われ、九種目に約四四〇人が参加しました。初日はラジボール卓球であいさつをし、参加者から「この参加者は元気が良く、病院の世話にならなくていいから市長も助かるだろう」と言われました。国保会計が楽になるといふことだと思えますが、元気は何よりの宝です。速球を素早いフットワークで打ち返す姿は見事でした。次のグランドゴルフは、広いかむてん公園をいっばいに使い、上りのコースでプレーする元気な高齢者パワーに圧倒されました。翌日は、エコジョーガーデン内のパークゴルフで始球式を行い、残念ながらO・B。狭いコースを攻略しながら、皆さん十八ホールを楽しんでいました。ゆったりとした自然環境の中で、いつでもプレーできる施設がある生活は、都会では考えられません。仲間と一緒に楽しめる人生は最高ですね。「新庄良いところ実感！」





小児救急講習会を 実施しました

めぐめぐ通信

第7号

9月
21

乳幼児期の子どもは急病に戸惑うことはありませんか。その際の不安を少しでも解消できるようにと、小児の急病時における適切な対応方法について須藤昌亮先生(須藤医院)を講師に、講習会を実施し、あわせて救急救命士によるAEDの実技講習も行われました。

今回は講習会で紹介した『山形県子どもの急病時に役立つ情報』の中から、心電処置の一例を紹介します。

■けいれん(ひきつけ)

◇①気づいた時間を確認

②目は?手足は?熱は?吐き気は?十分以上続くか?などを観察。

③衣服をゆるめて寝かせる。

※ゆする、抱き上げる、頬をたたき、舌を噛まないように口の中に物を入れるのは絶対にダメ!

◇①十分以上続くとき

②止まった後で、呼びかけや痛みを与えても反応しないとき

③意識回復後、どこかにマヒがあるとき

④発熱二日目以後にけいれんを起したとき

■誤飲

◇何を飲み込んだか周囲にあるものから推測する。灯油など揮発性のある石油製品と漂白剤、強い酸やア

ルカリの製品などは、吐かせるとかえって危険!すぐに診察を受けましょう。これ以外の場合も、一度吐かせてみるとよい。飲んだものの残りや、吐いたもの、その容器、添付説明書などは、診察を受けるときには持参しましょう。

◇たばこを食べてしまったときは、残りを確認。2センチ以上食べたとき、灰皿の汁やたばこを捨てたジュースの残りなどを飲んだときは、できるだけ早く診察を受けましょう。吐いたものの中にたばこの葉が一、二枚程度なら慌てないで大丈夫。

◇指をのどの奥に入れて舌を押し下げると吐きやすい。のどに詰まっているときは、①頭を下にして背中を叩く、②後ろから子どものお腹の前で指を組み、子どものお腹を上後ろ方向から強く引き上げる、などが良い。

平成22年度もがみ子育て支援 ネットワーク連絡協議会事業

講演会 パパスイッチON ～パパ流子育てから、みんなハッピー～

- とき 10月23日(土)午後1時30分～3時30分
- ところ 最上町中央公民館
- 講師 NPO法人 全国父子家庭支援連絡会
代表理事 片山 知行氏
- 新庄市地域子育て支援センター(わらすこ広場内)
☎22-5115

郷土の歴史

ひとくち 新庄市史

④ 初めての学校設立

江戸時代の新庄には、家臣の子弟が学ぶ藩校・明倫堂が大手門外(現在の市民プラザ辺り)にあったが、戊辰戦争の際焼失し、それが明治に入ると復興・再開された。しかし、明治五年の学制頒布と、それに続く各地の小学校の設置により、藩校は廃校となった。

明治五年九月、学制が頒布され、国民一人残らず学校に入ること学がことを期待し、全国各地に中学校や小学校が設立されたのである。

最上郡では、明治六年九月、新庄に三つの小学校が設置された。小田島地内の「新庄学校」(旧城内)、五日町の「南市学校」(松蔵寺内)、十日町の「北市学校」(観音寺内)である。明治七年の記録では、新庄学校には教員一名、男子生徒一七〇名、女子生徒一七名、南市学校には教員一名、男子生徒二〇名、女子生徒一七名、北市学校には教員二名、男子生徒七十七名、女子生徒二七名が在籍した。この数値から、明治初期の明倫堂の生徒(明治五年二七五名)は、新庄学校に編入したと思われる。なお、南市・北市両校は、明治十年に城内の新庄学校に統合された(新庄小学校の前身)。さらに、明治七年には、本合海学校・鳥越学校・泉田学校・太田学

今月の本

10月の
おすすめ



『週末は海にいます』

渡良瀬 一郎 / 著 (新庄市出身)

自分らしさとは何か? 自分の出生の意味とは? 25歳・美紀の「自分探し」を瑞々しく描いた大人の青春・恋愛ストーリー。オンライン小説サイトで『第1回Creative Story大賞』優秀賞を受賞した、実力派新世代作家の小説。



今月のテーマ展示

『音楽～music～』

今年はマーラー150周年、ショパンとシューマンが共に200周年と、偉大な音楽家たちの生誕記念年です。近年はクラシックやジャズを題材にしたドラマや映画も増えました。お気に入りの曲を聴きながら音楽の歴史や物語を読む…秋の夜長にオススメです。

● 児童図書 ●

- やまびこポスト(絵本).....山崎 克己
- おとうさんはパンやさん(絵本).....平田 昌広
- おつきさまとちいさなくま(絵本).....アンドレ・ダーハム
- もりのおふろやさん(絵本).....とよかずひこ
- かあさんあひるのたび(絵本).....エリック・バトウ
- ドラえもん科学ワールド宇宙の不思議.....藤子・F・不二雄
- たんぼといきものたちはるなつあきふゆ.....内山りゅう / 写真
- なみだめネズミグナートのぼうけん.....乙一

● 一般図書 ●

- 源氏物語と皇権の風景.....小山利彦(新庄市出身)
- これからの「正義」の話をしよう.....マイケル・サンデル
- 探査機はやぶさ7年の全軌跡(Newton別冊).....
-ニュートンプレス
- 知らなかった!都道府県名の由来.....谷川 彰英
- 世界が大切にするニッポン工場力.....根岸 康雄
- 雪と建築.....日本建築学会
- もちもち、ふわふわ米粉の蒸しパン.....上田まり子
- 苔玉と苔(別冊NHK趣味の園芸).....NHK出版
- 星の宝石箱～運を呼び込むジュエリー&パワーストーン.....
-鏡リュウジ
- 新徴組.....佐藤 賢一
- 禊の塔 羽黒山五重塔仄間.....久木 綾子
- 空の冒険.....吉田 修一
- ストーリー・セララー.....有川 浩
- 奪還.....麻生 幾
- 勝手にふるえてろ.....綿矢 りさ
- クロエとエンゾー.....辻 仁成

■開館時間:午前10時～午後6時
■休館日:毎週月曜日
◎市立図書館 ☎22-2189



蔵書検索

山大生と地域を活性化

ヤマダイのお造りSESSION 2010



▲民話を題材にしたシャッターペイントには市民も参加



▲ワークショップで行われた地域の指導者による縄ない体験

新

庄の魅力を引き出し、商店街の活性化と市民交流の拡大を図ろうと、「ヤマダイのお造りSESSION2010」が開催されました。この事業は、山形大学教育文化学部造形芸術コースの学生と、NPO法人芸術文化振興市民ネットの共催で、やまがた社会貢献基金協働助成事業として実施されたものです。

九月十九日(日)ゆめりあでのオープンイベントを皮切りに、二十五日(土)までの開催期間中、中心商店街とゆめりあを会場に学生たちのアイデアを生かしたさまざまなイベントが行われました。昨年引き続き行われた「まちなかライブペイント」では、店舗のシャッターをキャンバスに学生た

ちがダイナミックに絵を描きました。また、市民と一緒に絵を描く時間も設け、参加者は貴重な体験を楽しみました。

ほかに、期間中オープンした「コミュニティカフェ」では、すぎのこハウスとの共同開発による「ヤマダイ焼き」や学生デザイナーのオリジナルグッズを販売。「ものづくり」の楽しさを体験するワークショップの実施。そして、新庄に残る民具の展示と、新たな試みとして、学生が現代ファッションに民具を取り入れた着こなしを披露しました。

この活動を通し、町並みに彩りと活気を取り戻そうと奮闘する学生たちに、市民も刺激を受けた一週間になりました。

校が、同八年には、金沢学校・山屋学校・角沢学校・飛田学校・升形学校が、同九年には萩野学校が、それぞれ創立された。校舎は、地区内の寺院や民家の借用品が多く、中には間借の先をあちこち転々とした学校もある。明治十年以降には、福田学校・野中学校・梅月学校も設立されている。当時の学校は授業料を徴収したため、貧困層の子どもたち等は就学できず、創立当初の児童の就学率は全国的に低く、明治十年になつても三〇割にも満たなかった。特に最上郡の就学率は、全般的に生活水準が低く、教育に対する理解もまだまだ乏しかったため、県内他地区に比べても低かったようである。

なお、「尋常小小学」・「高等小小学」となるのは、明治十九年の学校制度の改正(小学校令)以降である。

ふるさと美味しいもん市場オープン! (9月25日/東京都北区赤羽志茂スズラン通り商店街)



新庄の安全・安心な食品を販売する常設店がオープンしました。東京都北区商店街連合会の生産地連携事業の一環として、海産物を販売する岩手県陸前高田市と共同で出店。おいしいふるさとの味を首都圏に届けます。

新庄・もがみフラワーフェスティバル(9月5日/ゆめりあ)

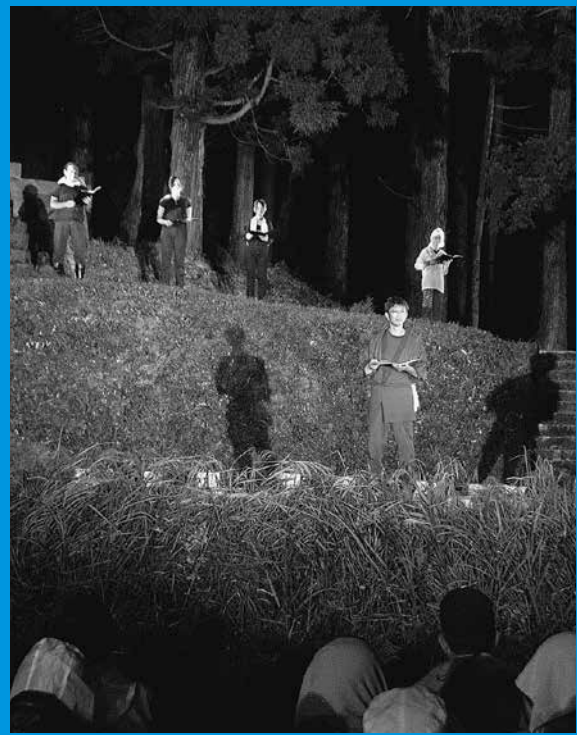


新庄・最上地域の花々を一堂に集め「新庄・もがみフラワーフェスティバル」を開催しました。会場では、市内のフラワーデザイナーによるデモンストレーションも行われ、色鮮やかな花ばなを使った美しいデザインが観客を魅了しました。

社会に奉仕「地域奉仕団結成」(9月25日/市役所)



災害時の救護活動や高齢者支援、青少年の健全育成などに取り組む奉仕団として「新庄市本宮一区赤十字奉仕団」が結成されました。市内で初めての認定で、結成式では、たかし 畠山 紘 委員長が「地域全体の奉仕者として活動したい」と決意表明しました。



■雨ニモマケズ～松田基次郎ゆかりの土舞台

(9月12日/鳥越八幡公園)

昭和初期に農村改善運動に情熱を燃やした鳥越出身の農民活動家・松田基次郎の生涯を描いた朗読劇「土に叫ぶ人」の公演が行われました。新庄を中心に活動する劇団員や有志が、基次郎や家族、友人役を演じ、地元住民による鳥越神楽や若連による新庄まつり囃子演奏なども劇中に披露。あいにくの雨模様でしたが、宮沢賢治の教えを実践した基次郎の情熱的な生涯が表現され、会場は感動に包まれました。



■「新庄の名所・名物ソムリエ養成講座」開講!(9月8日/市民プラザほか)

新庄の魅力再認識し、おもてなしの心で観光客を迎えてもらいたいと「新庄の名所・名物ソムリエ養成講座」を開講しました。この講座は、協働企画提案事業として、新庄観光ガイド協議会と市が協働で実施。寒河江市在住の観光カリスマ・工藤順一氏による講義や観光スポットの視察が行われ、参加した店主や宿泊施設関係者など市民約50人が新庄の魅力や歴史について理解を深めました。

しんじょう
まちがど

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

TOPICS



■新庄かかし祭り開催!

(8月5日～9月12日／エコロジーガーデン)
エコロジーガーデンで第8回新庄かかし祭りを開催しました。今年は、小学校、高校、企業などから25団体が参加。ユニークな作品の中から、観光ガイド協議会制作の「つや姫とゲゲゲの鬼太郎」が最優秀賞に選ばれました。



■第13回わくわく新庄フェスティバル開催

(9月4日～5日)
わくわく新庄で活動している団体が日ごろの活動成果を発表する「わくわく新庄フェスティバル」を開催しました。会場では、絵手紙、生け花などの作品展示や、歌、踊り太極拳などのステージのほか遊びの広場やお茶席など多彩な催しが開かれ、多くの市民でにぎわいました。

■各種競技会・大会結果

■第16回市民ゴルフ大会
総合優勝／大沼敦彦、シニアの部優勝／木村公洋、レディースの部／松井祐子、ベストグロス賞／古瀬明



▲沖縄県の伝統芸能・国重要無形文化財「組踊」特別鑑賞会(9月26日／市民文化会館)



■幼児教育支援のためヨルダンに出発

(9月19日／市役所)

長南里佳さん(金沢)が、JICA青年海外協力隊の一員としてヨルダンへ派遣されることになり、出発を前に市長を表敬訪問しました。長南さんは「これまでの実務経験を生かしながら現地の子どもたちと楽しく過ごしたい。自分も多くのことを学びたい」と決意を話しました。



■被害者支援に一役(9月3日／市役所)

新庄・最上地区被害者支援連絡会が事件、事故などの被害者を支援するための募金箱を市役所正面玄関に設置しました。自治体の窓口には被害者支援の募金箱が常設されるのは県内で初めて。被害者支援活動の周知と新庄・最上地域の被害者支援が期待されます。



3



2



1

1 コスモス摘み取りなどが行われた「コスモスまつり」

(9月5日／体験農園)

2 遊学21世紀講演会を開催

(9月23日／市民プラザ)

3 新庄21地域スポーツクラブフラダンス教室が新寿荘を慰問(9月9日)

10月の おしらせ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

水道メーター交換のお知らせ

計量法に基づき、耐用年数を経過する水道メーターの交換作業を行います。敷地内の作業となりますのでご協力をお願いします。

交換期間	10月14日(木)～26日(火)
委託先	新庄管工事協同組合 ☎22-2350
交換地区	上西山、梅ヶ崎、一本柳、中山、小泉、下西山、あたご町、上野、蛇塚、庚申、土手の内、上堀端、大正町、仲町、下仲町、岡崎町、泉町、馬喰町、清水川町、山片町、落合町、栄町、御長柄町、上名古屋敷、東下名古屋敷、西下名古屋敷、駅構内、柳町、横町、金沢一、仁間、福田、福田山工業団地、野際町、清水、芦沢、前波、その他

◎詳しくは、水道課業務・普及室へ。☎内線354

夜間・土日納税相談窓口開設

- とき 10月26日(火)～31日(日) 平日午後7時30分まで、土日午前9時～午後4時30分
- ところ 税務課納税室
- 内容 市税の納付相談
- ◎詳しくは、税務課納税室へ。☎内線150・152

最上8市町村合同婚活イベント 日帰りバスツアー開催

- 対象 成人独身男女各50人
(男性は最上郡在住者限定)
- とき 11月13日(土)午前10時～午後5時30分
- ところ 新庄駅集合・解散
- 内容 最上川舟下りやバーベキューなど
- 参加費 男性3,500円、女性2,500円
- 申し込み 10月31日(日)まで
- ◎詳しくは、市ホームページまたは、政策経営課企画政策室へ。☎内線242

▼とき 10月17日(日)午前8時
新庄駅東口集合 ▼内容 最上地方の一等三角点巡りと芋煮会 ▼交通手段 乗用車に分乗

第48回自然観察会 「一等三角点巡り」

▼とき 10月17日(日)午前8時
新庄駅東口集合 ▼内容 最上地方の一等三角点巡りと芋煮会 ▼交通手段 乗用車に分乗

▼対象 11月23日(火)午後7時30分キックオフVVS京都サンガ戦 ▼ところ NDソフトスタジアム山形
▼内容 メインスタンドS席、バックスタンド席、ホーム自由席を前売り1,500円(当日2,000円)で販売、小中高生は

モニテデオ山形 県民応援デー開催

☎農林課農林振興室 ☎内線2668

▼とき 10月30日(土)・31日(日) 午前9時～正午 ▼ところ 新庄市体験農園 ▼料金 1口1,000円(1口につき大根20本を保証) ▼募集口数 100口 (1家族1口まで)
▼申し込み 10月19日(火)電話受付開始 ※同時に手打ちそば(一杯500円)も予約受付。

新庄市体験農園 「大根収穫体験」

無料入場券を先着で配布します。▼販売場所 モンテデオ山形前売券取扱窓口
※販売枚数に限りがあります。

☎023-666-8882

家族介護者リフレッシュ事業 参加者募集

▼対象 要介護4・5または認知症の65歳以上の人を在宅で介護している家族 ▼とき 11月5日(金)午前9時～午後4時15分 ▼内容 鳴子温泉への日帰りバス旅行 ▼参加費 無料

▼申し込み 10月22日(金)まで
☎福祉事務所高齢障害支援室 ☎内線553

秋のプラネタリウム 無料一般公開

▼対象 年中児以上
▼とき 10月27日(水)、28日(木)、29日(金) 午後6時30分～7時

クリスマスリース 手作り教室参加者募集

▼とき 11月16日(火) 午前10時～正午、午後7時～9時
▼ところ わくわく新庄

▼申し込み 11月13日(土)まで
☎わくわく新庄 ☎23-0197

花の風の会 「庭で作りたい肥研修会」

▼とき 10月23日(土) 午前10時～ ▼ところ ゆめりあ
▼講師 栗田幸太郎さん(最上)

☎22-1033

「みんなで子育て応援団」 地域の交流を支援します

地域公民館などを活用して定期的に地域の子どもや保護者、また高齢者を対象に、遊びなどを通じ交流の場を提供している団体などに対して経費の一部を補助します。
○申し込み 10月29日(金)まで
◎詳しくは、福祉事務所児童支援室へ。☎内線545

世界のおやつ教室8 ブラジルのお菓子

▼とき 10月31日(日) 午後1時30分～4時 ▼ところ 市民プラザ ▼参加費 中学生以上800円、小学生400円
▼定員 20人
☎国際交流ボランティアグループ すまいる・菅野 ☎090-6689-8447

▼申し込み 事前に電話で
☎23-6211

基礎から身につけ 優雅に楽しく 踊ってみませんか?

■個人レッスン 月・水・金・日曜日午後6時まで
■団体レッスン 水曜日午後8時から

林田ダンススクール ※火・木・土曜日は鶴岡スクール 鶴岡 ☎0235-22-3585

新庄教室 新庄市千門町4-18 ☎29-2812

YAMAHA レッスン見学しませんか?

英語教室 ヤマハ 音楽教室

対象	コース	クラス	見学日	対象	コース	クラス	見学日
1歳	えいごであそび	水10:30	10/20	1歳	おののおもちゃばこ	(金)10時	10/22
年少児	リズムジャンプ	(土)10時	10/23	2歳	赤りんご	(金)11時	10/22
年中児	えいごではなそ	(火)17時	10/19	年少児	おんがくなかよし	(木)16時	10/21
年長児		10/26	(土)11:10			10/23	

お申し込み お問い合わせは... **Tazawa** 音楽センターへ ☎22-2757



催しなど

「モア モガミモダン 田中晴樹 木のデザイン展」

- とき 11月23日(火)まで開催中
- ところ 雪の里情報館
- 内容 「第6回全国木のクラフトコンペ」大賞受賞。「日常生活を楽しむモノづくり」第二弾
- ◎入場無料。詳しくは、雪の里情報館へ。☎22-7891

講演会「子どもの可能性を伸ばす コミュニケーション」開催のお知らせ

- とき 10月20日(水)午後6時～7時30分
- ところ ゆめりあホールアベージュ
- 講師 川村幸恵さん(NPO法人日本スケールコーチ協会認定コーチ)
- 申し込み 事前に電話で(定員80人) ※無料託児もあります。
- ◎入場無料。詳しくは、オープンハウスこんべいとうへ。☎29-2301

第22回 新庄支部合気道演武大会

- とき 10月17日(日)午後1時～3時30分
- ところ 市武道館
- ◎詳しくは、事務局・涌井へ。☎22-3122

県日中友好協会設立30周年 「周恩来と日本」写真展

- とき 10月18日(月)～22日(金)
- ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
- 内容 周恩来の写真100点以上を展示
- ◎入場無料。詳しくは、最上地区日中友好協会事務局へ。☎22-3580

第18回 シルバーフェスティバル

- とき 10月28日(木)午前9時～午後3時
- ところ 新庄・最上シルバー人材センター
- 内容 野菜等の販売、バザー、会員作品展示
- ◎詳しくは、シルバー人材センターへ。☎22-3065

「介護リフレッシュセミナー」

- とき 11月11日(木)午後1時～3時
- ところ ゆめりあ・花と緑の交流広場
- 内容 寸劇、米沢女子短大健康福祉学科准教授・加藤守匡氏による講演
- 定員 80人
- ◎入場無料。詳しくは、市地域包括支援センターへ。☎28-0330

フランス料理教室参加者募集

- 10月24日(日)午後4時～ ○市民プラザ
- 材料代 2,500円 ○講師・笹美知子さん
- 10月22日(金)まで申し込み
- ◎事務局・笹 ☎22-2086

秋季盆栽展

- 10月15日(金)～17日(日) ○ゆめりあ
- ◎新庄盆栽愛好会・小林 ☎22-0519

10月は土地月間です

一定面積を超える土地取引を行った場合届出が必要です。
◎政策経営課企画政策室 ☎内線242

最上「山ぶどう」収穫祭

- ▼とき 10月24日(日)午前10時～午後3時
- ▼ところ 梅里苑(真室川町)
- ▼内容 山ぶどう及び加工品の販売
- 問 最上総合支庁産業経済企画課 ☎29-1307

JICAボランティア事業参加者募集

- ▼対象 青年(20歳～39歳)、シニア(40歳～69歳)
- ▼募集内容 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア、日系社会シニアボランティア
- ▼申し込み 11月8日(月)まで
- ▼説明会 10月24日(日)シニ

- ▼参加費 1,000円(芋煮会経費は別途)
- ▼申し込み 10月16日(土)まで
- 問 神室山系の自然を守る会・海藤 ☎22-8713

最上地区視覚障がい者情報交流会

- ▼対象 中途視覚障がい者とその家族、関係者
- ▼とき 11月23日(火)午前10時～午後3時30分
- ▼ところ ゆめりあ
- ▼参加費 600円(昼食代)
- ▼申し込み 事前に電話で
- 問 県立点字図書館 ☎23-6311-5930

裁判所見学会

- ▼とき 10月22日(金)午後1時10分～午後3時30分
- ▼ところ 新庄簡易裁判所
- ▼内容 裁判手続き、裁判員制度の説明、裁判広報ビデオ視聴

下水道への接続調査を行います

- 下水道課および下水道宅内排水設備工事指定店の職員が宅内に設置された公共汚水枡の設置と接続状況を調査します。
- ▼とき 10月27日(水)・29日(金)
- ▼調査区域 本町、小田島町、大手町
- 問 下水道課業務普及室 ☎23-5100

障害基礎年金について

- 障害基礎年金は、国民年金加入中や、20歳前で公的年金に加入していない時の病气やけがで、一定の障がいが残ったときに請求できます。保険料の納付状況や症状が審査され、1

級または2級(障害者手帳等の級とは別のものです)に該当すると年金が受給できます。ただし、老齢基礎年金を受給した後は障害年金の請求はできませんのでご注意ください。また、本人に一定額以上の所得(20歳前障害の場合)や他年金の受給がある場合、支給が制限されます。

消費生活なんでも無料相談会

- ▼とき 10月31日(日)午前10時～午後3時
- ▼ところ 市民文化会館
- ▼応対 司法書士
- ▼内容 悪質商法の契約トラブルや、多重債務などの相談
- 問 市民課市民相談室 ☎内線125

新庄年金事務所

発症日や医療機関の初診日、通院歴などをあらかじめ確認のうえ窓口でご相談ください。

こらっせホール

●家電メーカー展示会 A・B両ホール終日使用
1日50,000円×3日=150,000円

●ボランティア団体講演会 Aホール3時間使用 2,000円

●民間企業会議 Bホール2時間使用 6,000円

こらっせホールのご予約・お問い合わせは…
こらっせ新庄1階メディアセンター ☎090-9940-2788

各種イベント、会議など幅広い用途でご利用頂けます。

166.5m²
(50.3坪)

こらっせホールA こらっせホールB

新庄市本町4-33 ☎23-0345

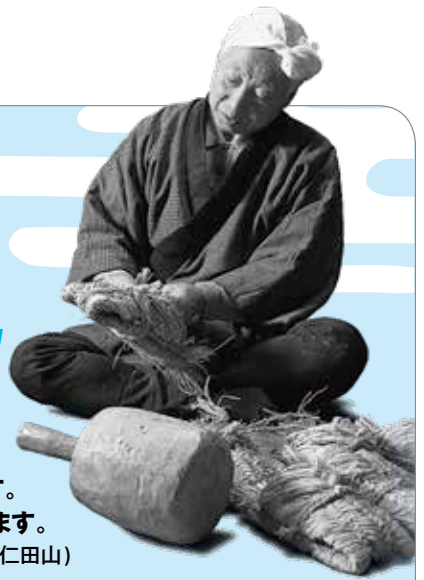
URL <http://www.colasse.jp/>
E-mail info@colasse.jp



佐吉爺の
さきちい

民具

あれこれ



雪とまつりのふるさと新庄の先人たちは、知恵と技術を凝縮して機能的で美しい民具をつくりだし、その文化は、現代も継承されています。民具の使い方や機能について、当時の暮らしぶりなどをまじえて紹介します。

解説:伊藤佐吉さん(仁田山)



ミノゲボウシ
雪ふみ俵

「八十歳して、ワラを手に取り今日もまた、手と足動く楽しみにけり」

佐吉爺の生まれたところは、雪深い仁田山村。昭和二年十二月下旬、一番と寒い時期にワラの上で生まれたようです。幼いころは、ワラで作った籠「エジコ」に入れられたり、ワラの筵の上で遊んだ記憶があります。外に出て遊ぶようになる足半という大人の足の半分くらいの大さきのぞうりをはいて遊びました。

昭和九年四月に小学校入学。この年は大凶作で、ダイコン飯を食べ、雨が降っても足半ばきでの通学でした。家には立派な衣類もありませんでしたが、学校には元気に通いました。冬になると、お父さんが作ってくれたワラ半長くつをはいての通学。四・五年生になると、縄ないや足半・

ぞうり・雪くつ(ジンベ)などの作り方を教えてもらい、姉や弟と協力して作ったものです。冬の間、農家はどの家でもワラ仕事。一年分の足半やぞうりを作ります。また、牛馬に使う用具もたくさん作りました。ワラは牛馬の食料でもあり農家の必需品でした。

昭和十六年、太平洋戦争が始まり、物資もなくなってきました。翌昭和十七年三月に卒業、百姓一年生となり、冬は米俵と作業着となるミノ、足半やぞうりなどあらゆるワラの用具を作りました。

田畑の仕事に出るときは、みんな足半。山仕事はワラジで、冬仕事は雪くつ、現代のようなくつ下もなく素足にはいて仕事をしたものです。頑丈な足です。

昭和三十五年ころより農業の機械化が始まり、ワラ仕事も消え、すべてナイロンやビニール製品の生活に様変わりしました。

昭和六十三年、新庄ふるさと歴史センターに「民具研究会」が発足。わたしも会員として入会しました。先人が作ったワラの民具を手に取り見たときに、昔を思い出してわたしも作り始めました。

写真は、数年前に作った雪ふみ俵とミノゲボウシです。

「先人の 手づくり民具 手に取り文化の歴史 想い知りさる」

表紙の 写真

はっけよいのこった! 一新庄小学校相撲大会

9月15日、新庄小学校で相撲大会が開かれました。相撲大会には、1年生から3年生までの子どもたちが参加。秋晴れの青空のもと、土俵上では、子どもたちが元気いっぱいの取り組みを繰り広げました。会場は、父兄や子どもたちの大きな歓声で、興奮と熱気に包まれました。



8 月末現在の 新庄人

39,153人(39,422人)

女	20,436人(20,584人)
男	18,717人(18,838人)
世帯数	13,493世帯(13,486世帯)

8月の異動

出生	20人(25人)
死亡	35人(43人)
転入	57人(64人)
転出	72人(83人)

※()は1年前の住民基本台帳



環境にやさしい大豆油インキを使用しています